

この自己点検・評価報告書は、麻生公務員専門学校北九州校の平成28年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

自己点検・評価 報告書

麻生公務員専門学校 北九州校

平成29年 3月31日

校 長 竹内 常高

自己点検・評価責任者

校長代行 小原 秀史

目 次

基準 1	理念・目的	- 2 -
基準 2	教育の内容	- 3 -
基準 3	教育の実施体制	- 4 -
基準 4	教育目標の達成度と教育効果	- 5 -
基準 5	学生支援	- 6 -
基準 6	学生募集・受け入れ	- 8 -
基準 7	社会的活動	- 9 -
基準 8	管理運営・財務（学校・各部門）	- 10 -
基準 9	管理運営・財務（本部）	- 11 -
基準 10	改革・改善	- 13 -

平成28年度
(2016年度)

評価結果

- S : 達成度が高い
- A : ほぼ達成している
- B : 達成しているがやや不十分
- C : 達成は不十分で改善を要する（不適合）

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神や教育理念、教育目的・目標については、Web サイトやパンフレット等を通じて校内外へ発信している。また、これらの目標を達成するための計画も教職員会議等の結果をもとに作成し、保管・配布している状況である。

主な課題及び改善の方向性

現状で十分基準を満たしている。しかし、建学の精神や教育理念、教育目的・目標について、今後は教職員間での共有、学生への周知の場面をより増やしていくことが望ましい。

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

建学の精神・法人の理念・学校教育理念・学科の教育目的・育人人材像について、明文化、共有、公表とも十分に実施している。

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育理念や方針などを盛り込んだ麻生塾オリジナルカードを教職員が携帯している。パンフレットや募集要項などの印刷物に教育理念、ビジョン、校訓等を盛り込み提示している。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生便覧などの印刷物や WEB サイトの中で教育理念や方針等を盛り込んでいる。また同資料を用いて学生への説明を行っている。学時だけでなく、グローバルシチズンの授業を通じてあらためて周知を行っている。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

パンフレットやキックオフ資料に本校の教育理念を示している。また、教務会議で本校の教育理念や教育目標が校長代行から示され、教員で検討する機会があり、教員間で意見交換を行っている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育人人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「法人の理念」および「各校の教育理念」に基づいて、各学科の教育目的や育人人材像との目標を設定している。「各校の教育理念」が変更された場合、教務会議で各学科の教育目的や育人人材像を見直す仕組みになっている。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画(カリキュラムマップなど)を文書化し、学校構成員に提示・共有しているか。また各学科の教育目的は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

パンフレットや WEB サイトにて学科別の教育目標、年間タームを提示している。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

WEB サイトに教員と担当科目を提示している。教員のクラス担当・科目担当、教室割、予算書などを文書として作っている。

基準 2 教育の内容

項目総括

カリキュラム内容については、外部の方々の意見も取り入れ、検討・改善を行っている。また教職員についてもアンケート評価、評価結果に基づく研修制度等を準備しており、質の高い教育サービスが提供できるような制度を整えている。育成人材像やシラバス・コマシラバスについては作成し、そのうちシラバスについては学生に提示している。

主な課題及び改善の方向性

シラバス・コマシラバスは備わっているが、それが教員全体の合意に基づいて作成しているとまでは言えない。全体の合意でシラバス・コマシラバスを作成し、誰が授業担当となっても授業の内容・質に違いがないようにすることが理想である。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラム内容については、外部の方々の意見も取り入れ、検討・改善を行っている。また教職員についても、アンケート評価、評価結果に基づく研修制度等を準備しており、質の高い教育サービスが提供できるような制度を整えている。

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

Web上で、求める学生像、カリキュラムを公表している。育成人材像やカリキュラムは教育課程編成委員会の中で話し合わせ、業界のニーズに沿った正しい方向付けを行なっている。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科を担当する教職員でカリキュラム作成会議を開催している。また、シラバスを前期後期それぞれの開講前に学生に配布し、説明を行っている。コマシラバスについては、授業担当者が作成し、それに基づいて授業を実施している。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育課程編成委員会には業界関係者、近隣住民・保護者代表の者などが参加し、カリキュラムの作成にその意見が反映されている。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

シラバス、コマシラバスについては、科目担当者間で話し合い整合性を図りながら作成している。作成されたシラバスについては本校の共有ファイルで全科目集約管理している。

中項目 2-2

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業の改善のための教師アンケートや研修制度は充実している。今後の課題は、教師間の授業見学や科目担当者での勉強会を充実させることである。

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートを年 2 回(前期・後期)実施している。改善の余地がある場合は、管理職による面談を行っている。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会等、名称問わず)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生公務員専門学校福岡校とも連携して、各学科又は担当科目の教員により会議を行い、教科書開発や情報共有など、授業改善のための組織的取り組みを行っている。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

麻生塾全体で教員研修計画を作成し、教員のスキルアップを図るべく研修を実施し、教員も研修に参加している。また、外部の研修にも毎年参加しているが、学校内部での研修がほとんど実施されていない。

中項目 2-3

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

すでにキャリア教育、リメディアル教育とも十分実施している状況である。

小項目 2-3-8 適用除外

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

公務員リテラシーの授業内で、公務員の職種研究を行っている。またグローバルシチズンの授業においてキャリア教育を組み込んでいる。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 入学前の学生に対する課題や補講を実施し、また入学後も放課後に数学等の基礎教育を行っている。

基準 3 教育の実施体制

項目総括

教育課程に対してふさわしい教員組織を満たしており、非常勤講師とも協働して業務にあたっている。また、公務員採用試験に専念できる環境を整えるため、教室のほかにも面接指導室やパソコンルーム、トレーニングルームなどの施設設備を準備している。

主な課題及び改善の方向性

近年、入学者が増加しており、面接指導室やパソコンルームが繁忙期には不足している状況である。学生数増加に対応した施設整備のさらなる充実が望まれる。

中項目 3-1

教育の実施体制を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

クラス数を基に十分な常勤講師の員数を備えている。また、主要科目については担当できる教員が複数名おり、授業担当者以外の教員からもサポートが受けられる体制となっている。非常勤講師とも情報交換を密に行っている。

小項目 3-1-1

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各科目・分野別に教員が複数在籍しており、必要十分な教員数といえる。また、年齢構成も 20 代・30 代・40 代と複数在籍している。

小項目 3-1-2

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科の教員及び管理職が定期的に非常勤講師の授業進捗状況を確認し、情報交換を行っている。また非常勤講師が作成した報告書を定期的にチェックしている。

中項目 3-2

教育環境を整備・活用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

学校の設備・備品を整備する体制や災害や事故に関する予防措置をしっかりとっており、安全で快適な学校生活を維持している。課題は、教室が繁忙期には不足していることである。

小項目 3-2-3

実習で使用する学校設備、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

PC、複合機、コピー機、印刷機、10万円を超える固定資産は管理実施済みである。

小項目 3-2-4

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自治体へのインターンシップにあたり安全対策を含む注意事項を文書化し、実習前に対象学生に対して配布・告知を行っている。学生・生徒災害傷害保険およびインターンシップ活動賠償責任保険に加入している

小項目 3-2-5

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

保守点検業者を通じ確実に整備点検を実施。その都度報告書を受領し、内容の精査を行っている。

小項目 3-2-6

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ラウンジや面接指導室を設置し、その場所を利用し、学生がパソコンや書籍を使用して就職活動を行っている。また同会場を用いて進路相談や面接指導を行っている。

小項目 3-2-7 適用除外

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

項目総括

年度開始時に目標を全教員で共有している。教員全体で目標達成のために協働した結果、合格率等のほとんどの目標をしっかりと達成できている。

主な課題及び改善の方向性

客観的な数値目標についてはほとんどの項目で達成している。しかし、より向上させるために学科、学年を超えた協働関係を強化していくことが課題。

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価をしているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

全教員での目標の共有、また結果に基づいた改善は毎年十分に行なっている。

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

教務会議やキックオフ会議にて目標数値を教員間で共有している。期末試験の成績は麻生塾システムへ入力するとともに別表を作成・印刷して文書として保管している。ただし、結果の検証については不十分である。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

事業計画書にて数値目標を設定している。設定した内容については教務会議やキックオフ会議にて目標数値を教職員間で共有している。検定結果については、麻生塾システムへ入力するとともに、別表にて合格率を算出し、結果を分析。状況に応じた補講の実施や、次年度以降の指導に役立てている。

小項目 4-1-3 適用除外

小項目 4-1-4 適用除外

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教務会議やキックオフ会議にて目標数値を教員間で共有している。また学生数の状況を教務室に掲示し、教員間で情報を共有できる環境を整えている。退学者・保護者・担任との面談を報告書として記録に残し、教員間でも情報を共有するとともに退学事由等を分析・集約し、事後の学生指導に役立てている。また、Web サイトにて在籍者数や卒業生数に加えて退学者数を公表している。

基準 5 学生支援

項目総括

学校生活で学生が担任やスクールカウンセラーによる面談を常時受けられる体制を整えている。また、保護者を含めた三者面談も定期的に行っており、学生をサポートする体制がしっかりと設けられている。さらに、奨学金制度も充実しており、学生を経済面から支援する体制も十分ある。

主な課題及び改善の方向性

現在、部活動顧問を担当している教員がいない。業務の効率化を図り、部活動に携わる時間を作れるようにする必要がある。

中項目 5-1

学生支援を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

担任をはじめ、全ての教員が学生一人ひとりを大切にし、学生・保護者としてしっかりと連携を取りながら学校運営を行っている。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学前後や公務員試験申込前に担任と学生の面談を実施している。また成績や生活状況に応じて随時面談を実施し、その結果について記録表を作成し保管している。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

公務員試験の受験指導に当たって保護者を交えた三者面談を実施している。また成績や学校生活の状況、保護者からの要望に応じて面談を実施し、報告書を作成・保管している。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

本校内に就職部があり、就職担当の指導員が常駐している。また、公務員試験に不合格となり民間企業への就職に切り替えた学生に対して、キャリアカウンセラーによる面談や指導を行う体制を整えている。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

定期的にかウンセラーが来校し、必要に応じて学生が相談でき、また随時メール等でも相談できる体制を整えている。

小項目 5-1-5

ハラスメントに関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメントに関する専用の相談メールアドレスがあり、専門の担当者の相談を受けられるようになっている。なお、このメールアドレスは学生便覧に記載しており、入学時に学生に告知している。活用状況については、守秘義務があるため不明である。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学費免除制度を準備しており、パンフレット等で公表している。また、学生支援機構など学外の奨学金制度が利用できる体制を整えている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学科の特性上、留学生や社会人を受け入れていない。障がい者に関しては受け入れた上、学校生活に支障のないよう各教員が協力して対応している。また障がい者枠の公務員試験の情報を該当学生に告知するなど特別な配慮を払っている。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

運動系・文科系クラブ活動を複数設けている。学生に対して1年に1度説明会を実施して、入部を積極的に促している。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

姉妹校と協力して校友会(同窓会)を設置し、定期的に校友会総会を開催している。

小項目 5-1-9 適用除外

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校友会(同窓会)の再就職斡旋希望者向けに、Webサイトを使用して民間求人を紹介している。また、公務員を再受験する卒業生に対して、試験情報の提供や面接指導などを行っている。実際に、民間企業や公務員試験に多くの卒業生が再就職できている。

小項目 5-2-11

学校情報を卒業生、保護者、高等学校等、企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校情報を、卒業生に対しては年に2回、総会がある年は3回、在校生に対しては毎月、学校通信という形で郵送している。高等学校に対しては、学生の合格状況、就職状況を書面にして適宜訪問し、報告している。また、Web サイトやブログ、facebook などを通じて随時学校の情報を知らせている。

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

項目総括

募集要項やパンフレットに育成人材像、入学試験の基準、学費等必要な情報が明記しており、またそれに基づいて入学選考、入学手続きが行われている。

主な課題及び改善の方向性

特に問題はない。近年は入学希望者が増えているが、人ひとりの入学希望者に対してこれまでと同様にしっかり説明責任を果たしていかななくてはならない。

=====

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

募集要項やパンフレットに育成人材像、入学試験の基準、学費等必要な情報を明記しており、またそれに基づいて入学選考、入学手続きを行なっている。

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

募集要項にアドミッションポリシーを明記している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

本校の広報担当者や教員が定期的に高等学校を訪問し、進路指導担当者と意見交換を行っている。また、広報会議でニーズを集約し、学生募集活動に反映させている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

合格実績や公務員試験結果を、パンフレットや WEB サイトにて正確に公表している。また、卒業生の活躍については、パンフレット内での掲載のほか、オープンキャンパス内でも卒業生に講話をしてもらって伝えている。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

パンフレットに学科ごとに育成人材像、目指す就職先、修得できる知識や技術を明示している。

小項目 6-1-5

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

募集要項に学費の内訳、支払時期および金額、その他教材費等の概算の金額を明示している。

小項目 6-1-6

募集要項には入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

募集要項に入学者の選抜方法を明示しており、入学者選考を公正かつ適切に実施している。また、広報会議で入学者選考を定期的に検証している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科にて適切な募集定員を設定している。また、収容定員内で在籍学生数を適正に管理している。

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

本校が公務員として活躍できる人材を輩出することを目的としているため、学生には積極的にボランティア活動に参加することを促している。その中で現在北九州ボランティア大学校や社会福祉協議会、福岡県警察と連携して学校全体で社会的活動を実施している。

主な課題及び改善の方向性

全学生のすべてのボランティアについて報告書が提出されているわけではない。教員により事前・事後の管理をしっかりすることが課題。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生のボランティア活動については、行政や民間団体との連携体制が整っており、多くの学生が積極的に参加している。また、教員による高校生向け講座なども充実している。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： S

■コメント

北九州ボランティア大学校や自治体等と連携し、講義や活動を通じて学生にボランティアを推進している。また活動の度に報告書を提出させている。また、学則や単位認定に関する規定に従い、条件を満たした学生に対してボランティア活動に関する単位認定を行うことができるようになっている。

小項目 7-1-2

学校として地域貢献を目的とした公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

現役高校生を対象とする高2コース、高3コースを開講している。高校での出張授業を実施している。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

北九州ボランティア大学校や北九州市、福岡県警、福岡県庁などと連携してボランティアを実施している。

=====

基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）

=====

項目総括

組織の運営・管理については、会議の開催や文書の配信によって情報共有ができています。財務体制については、予算計画書・報告書の作成や会計検査の実施など適切な運営を行っている。

主な課題及び改善の方向性

組織の・運営・管理についての情報共有に関しては、改善の余地がある。より情報共有の場を増やすことが望まれる。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

全教職員が所持している麻生塾ルールブックにも管理・運営上のルールを記載しており、規程どおり運営されている。

小項目 8-1-1

運営会議(教務会議・部門会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科における教務会議、就職年次における受験年次会議、全体教務会議等を定期的に行っている。また、議事録を作成・発信し、指定されたフォルダに保管している。

小項目 8-1-2

組織の職務分掌を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

組織図や各種委員役割分担表などで各職員が職務分掌を理解している。また、年度開講前の教務会議で確認を行っている。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

防災・防犯対策に関するマニュアルを作成し、教務室内に常時備え置いており、教職員がそれを見ることができる環境を整えている。また、防災・防犯対策に関して責任者の決定や各教職員の役割分担などを行っている。避難訓練も学生、教職員で定期的に行っている。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

個人情報に関する規程を準備しており、同規程に基づいて教職員が活動している。

小項目 8-1-5

ハラスメントに関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント防止規定を作成・文書化しており、それに基づいて教職員が活動している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

研修計画を全職員が共有ファイル上で閲覧できる環境にあり、責任者と相談した上で業務遂行上必要な研修を実施している。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 法令・学内規程に基づいて、適切に処理している。

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

年度予算を作成している。中期計画書は作成していないが、事業計画書の中で五年後までの事業計画を立てている。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

月次予算実績報告書を作成し、定期的な確認、分析を行なっている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

固定資産管理運用基準を設け、その基準に従って運用している。

小項目 8-2-10

適用除外

=====

基準 9 管理運営・財務（本部）

=====

項目総括

管理・運営体制の充実、改善活動の推進、諸規程の整備などを通して、教育環境の向上を図り、教育の質を高める活動を展開している。今年度は福岡キャンパスで新校舎新設、総合図書館における図書貸出の取り組みなど、学生サービスの拡充に取り組んだ。

財務面では財務体質の健全性の確保、会計監査体制の見直し、情報公開などを推進している。

また、2016年4月の熊本地震を受けて、リスクマネジメント、建物・設備の点検、非常時の対応策などについて見直しの徹底を図っている。

主な課題及び改善の方向性

学校の特性などにより募集活動に差が出てきている。これを受けて中長期的な観点からの経営計画の見直し、および学校教育制度の変化を考慮した運営体制の見直しが必要である。短期的には各種の規程の整備や制度の充実、および情報の公開性を高める方策が喫緊の課題である。

中項目 9-1

管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 規程通りに運営している。

小項目 9-1-1

運営会議(常任理事会、MM 会議、共有会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント 常任理事会、MM 会議、共有会議を開催し、進捗の報告、課題・成果の共有を行なっている。

小項目 9-1-2

決裁規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 稟議規程を作成し運用している。組織変更にあわせた変更が必要。

小項目 9-1-3

人事関連規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。(人事考課制度、昇進・昇格制度)

■自己点検・評価結果: B

■コメント

人事考課制度、昇進昇格制度ともに策定できているが、昇進昇格制度の周知徹底に関しては更なる改善が必要。

小項目 9-1-4

賃金制度を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント 文書化し、適切に運用できているが、開示が不十分。

小項目 9-1-5

教育目的を達成するために、適切な採用制度を設けて文書化し、運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

採用規程を改定し、運用を行っている。

小項目 9-1-6

学生による授業評価活動を計画・実施し、改善を推進しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

授業アンケートを年 2 回実施し、結果の報告書を作成している。しかしながら、改善活動の実施について、学校間に差があり、解消していく必要がある。

中項目 9-2

法人の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

財務体質は良好。月次での予算管理、四半期での報告など適切に運営されている。

小項目 9-2-7

教育活動を安定して遂行するために、必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

収支も予算どおりに推移しており、財政的基盤に重要な問題はない。

小項目 9-2-8

予算編成及び予算執行を適切に行ない管理しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

月次ごとに予算状況を把握しており、大きな差異について、その都度問題を把握している。

小項目 9-2-9

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告を文書等にて明示しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

今年度より個人の監査人から、監査法人へ契約変更。今後は監査法人と密に連携していく。

小項目 9-2-10

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し、公開しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

「学校の方針」に基づき、必要な事項を適切に開示している。

中項目 9-3

教育環境を整備・管理し適切に運営しているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント ほぼ達成しているが、周知が不足している部分もある。

小項目 9-3-11

空調、防災設備等の学校設備を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 9-3-12

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 長期修繕計画にもとづき建物の管理を行なっている。

小項目 9-3-13

固定資産管理規程を文書化し、教職員に周知し、固定資産を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 文書化はしているが、部分的にしか周知はしていない。

小項目 9-3-14

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し、学校構成員に周知徹底しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント
地震・火災・不審者対応マニュアル、緊急時対応フローを作成し組織化し、必要に応じて追加見直しを行なっている。

小項目 9-3-15

個人情報保護規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、日常的に啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント
desknet's、ルールブックにて周知、研修を行なう予定だが、日常的な啓発活動が不足している。

小項目 9-3-16

ハラスメントに関する規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、防止のための啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント
ハラスメント防止規程、防止ガイドラインを作成し、desknet's、ルールブック、研修等にて周知、啓発している。

小項目 9-3-17

図書(固定資産)管理規程を文書化し、図書を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
図書管理規程および運用規程のもと、専任職員による管理運用を行っている。
図書貸出しにむけた管理・運用規程を整備していく。

=====

基準 10 改革・改善

=====

項目総括

自己点検・評価委員を中心に定期的に自己点検・評価活動を行っており、評価結果に基づいて、改善活動を行なっている。

主な課題及び改善の方向性

現在は、自己点検・評価委員を中心として活動しているが、活動する上でより多くの教職員の意見を反映させていくことが課題。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント
自己点検委員・評価委員会により点検を行い、教職員で協議の上改善を行っている。

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施し、改善のための年間計画を作成しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
麻生塾内の実施規定・計画に基づき適切に点検・評価を行っている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価活動及び評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント
自己点検・評価委員の活動や評価結果を実施後に教職員へ発信している。また、共有ファイル上で評価結果を閲覧できる環境にしている。改善活動には教職員全体で取り組んでいる。

小項目 10-1-3

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価委員の報告で挙げられた改善項目についてフォローアップシートを作成し、改善計画を策定した上で実行している。また改善項目については毎年度点検を行っている。

小項目 10-1-4

自己点検・評価活動に関する内部監査を組織的に行ない、改善活動に役立てているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検委員と校長代行を中心に内部監査を行っている。実施後に内部監査結果報告書を作成し、不適合項目と改善計画を全職員が閲覧できる共有ファイル上に保存している。

小項目 10-1-5

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトで公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年 1 回開催される学校関係者評価委員会の中で、委員に対して結果を公表している。また Web サイト上でも結果を公表している。